

科目分類	専門職の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
73220	2	後期	必修	1	30
授業科目名 (英文)	保健指導演習 (Health Counseling and Guidance)				
担当教員名	伊藤 美千代／齋藤 尚子／崎山 紀子				
授業の概要及び到達目標					
ヘルスプロモーション活動の企画・実施・評価の流れ、および、人々の健康行動の特性、効果的な支援方法と技術（保健行動理論）を学修した上で、地域の人々が自らの健康状態を認識し、健康の保持増進を図ることを支援する方法として、個人・家族を対象にした面接指導の方法と技法について学修する。 下記を到達目標とする。 ・ヘルスプロモーション活動の目的・進め方を理解する。 ・保健指導/健康教育における理論を理解できる。 ・対象の保健行動を支援する関わり方について、対象の健康状態と生活状況を把握した上で、理論をもとに保健指導案を作成し、実践、評価する一連の保健指導の進め方を理解できる。 ・支援対象者/集団がおかれている状況（背景）と対象の生活、および健康状態について関連させた対象理解ができる。 ・健康行動理論を活用した集団を対象とする健康教育の立案方法を理解する。					
準備学習等					
授業進度に沿って、事前に自己学習した上で授業に臨むこと。					
成績評価の方法	試験（50%）、提出物・レポート（40%）、演習での参加態度（10%）により成績を評価する。				
テキスト	・松本千明,「医療保健スタッフのための健康行動理論の基礎-生活習慣病を中心に-」, 医歯薬出版株式会社, 2002 ・荒賀直子・後閑容子編集,「公衆衛生看護学.jp」 第4版データ更新版 インターメディカル（公衆衛生看護援助論Ⅰ 1年次購入）,2017				

参考図書	・ 「国民衛生の動向 2018/2019」(第 65 巻第 9 号) 厚生労働統計協会 (公衆衛生看護援助論Ⅰ 1 年次購入) ,2018 ・ 中村裕美子他,「標準保健師講座 2 公衆衛生看護技術 (第 3 版)」, 医学書院, 2016 ・ 特定非営利活動法人 日本健康教育士養成機構,「新しい健康教育理論と事例から学ぶ健康増進への道」, 保健同人社, 2012 ・ 厚生労働省 HP [標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】] http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/kenkou/seikatsu/dl/hoken-program1_01.pdf ・ DVD 国立循環器病センター予防検診部, 01.基礎編 メタボリックシンドローム, 家族協会 ・ DVD 国立循環器病センター予防検診部, 04.健診結果の見方・考え方, 家族協会 ・ 河野啓子・伊藤美千代他,「すぐに役立つ産業看護アセスメントツール」 株式会社法研, 2014
備考	本科目の単位取得は、公衆衛生看護援助論Ⅱ、公衆衛生看護援助論Ⅲ、公衆衛生看護学実習の履修前提条件となる。 各教員のオフィスアワーについては看護学科「オフィスアワー」の項に提示する。
授 業 計 画	
1. 保健面接の進め方：姿勢・技術 2. 看護職による保健指導に必要な知識と看護技術の理解 3. 保健指導案の作成(1)：対象理解（健診結果、病態/健康状態の理解） 4. 保健指導案の作成(2)：対象理解（背景要因） 5. 保健指導案の作成(3)：対象理解（検査データ、生活習慣、生活の実態、労働生活の特徴を結びつけて理解を深める） 6. 保健指導に関する理論 1 7. 保健指導に関する理論 2 8. 保健指導に関する理論 3 9. 保健指導に関する理論 4 10. 保健指導案の書き方 11. 保健指導案の作成(4)：求められる行動（生活習慣の現状と課題） 12. 保健指導案の作成(5)：求められる行動（生活習慣の現状と課題） 13. 保健指導の実際 14. 保健指導実践の評価 15. 集団を対象とした健康教育方法の理解 *授業の進捗度・理解度により変更する場合もある	